

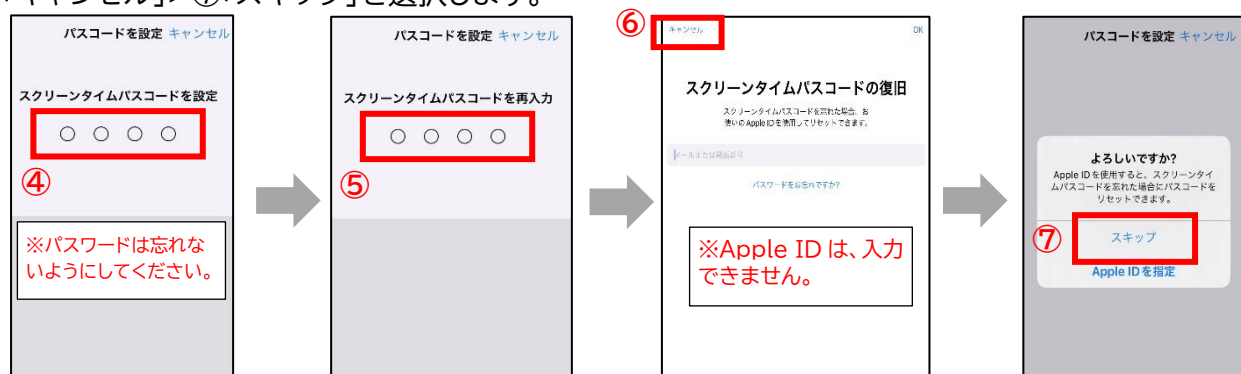
スクリーンタイムの設定方法(OS17 以上の場合)

■ スクリーンタイムをオンにする

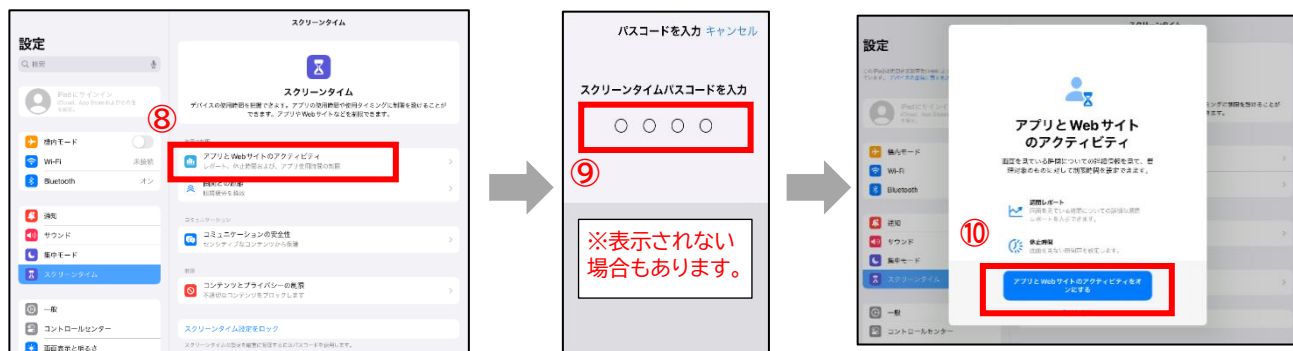
1.①「設定」>②「スクリーンタイム」>③「スクリーンタイム設定をロック」を押します。



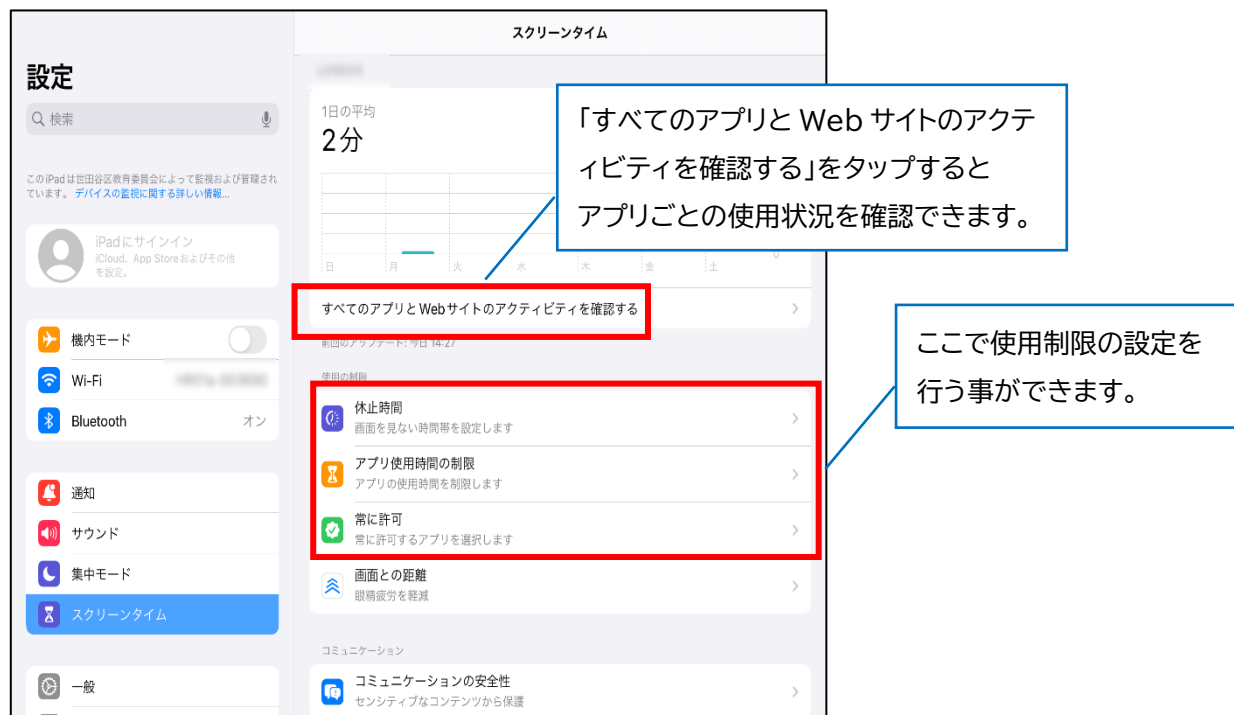
2.④4桁のパスコードを入力(保護者が決めてください)>⑤再度同じパスコードを入力>⑥左上の「キャンセル」>⑦「スキップ」を選択します。



3.⑧「アプリと Web サイトのアクティビティ」>⑨先ほど決めたスクリーンタイムパスコードを入力>⑩「アプリと Web サイトのアクティビティをオンにする」を押します。



4. これでスクリーンタイムがオンになり、細かく設定できる画面になりました。この画面で、使用状況の確認やアプリの時間制限等を設定する事ができます。



※設定画面の下部の方にある「コンテンツとプライバシーの制限」は、インターネットフィルタリングサービスにより、既に制限を実施しているため、変更の必要はありません。

※ご家庭では、「休止時間」、「アプリ使用時間の制限」、「常に許可」の設定が可能です。

休止時間

指定した時間帯でiPadの使用制限を行うことが可能です。

※学校に登校している時間帯は使用制限をかけないように設定してください。

1. 「休止時間」を選択します。



2. 「スクリーンタイムパスコード」を入力(表示されない場合有り)した後、「スケジュール」と「休止時間中にブロック」をオンにして、開始と終了時間を設定します。

※「曜日別に設定」を選択すると、曜日ごとに時間帯を設定できます。

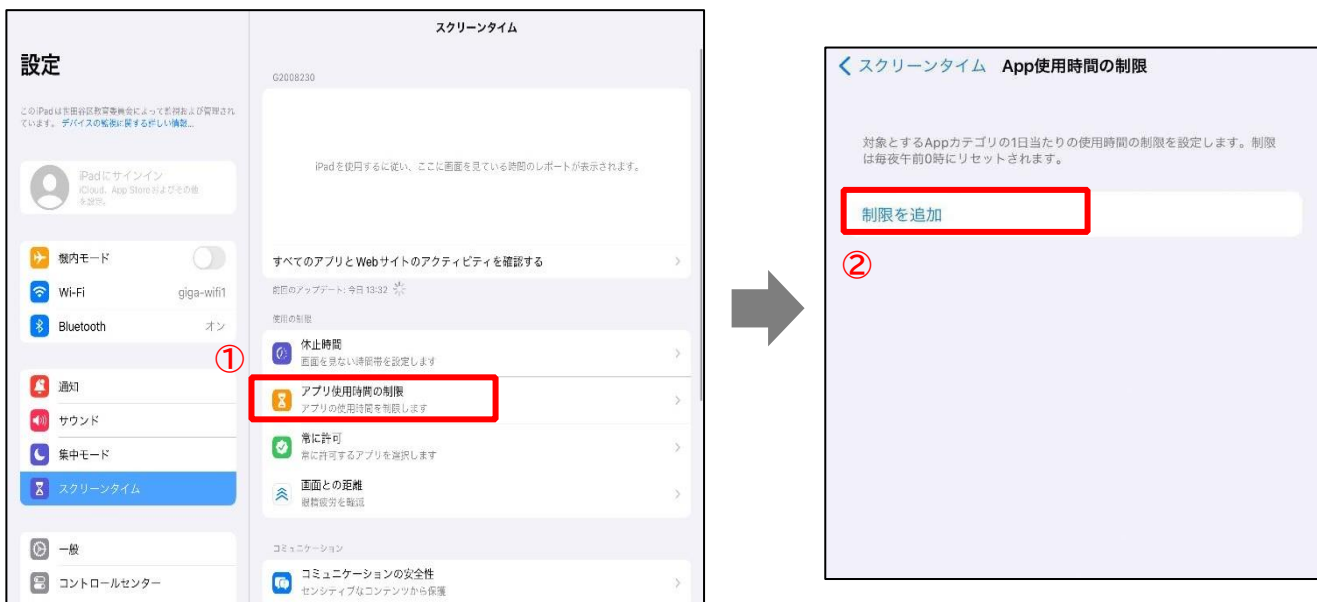
設定が完了したら、「スケジュール時間まで“休止時間”をオンにする」を押すと反映されます。



■ アプリ使用時間の制限

アプリやインターネットサイト(URL 指定)ごとに 1 日あたりの使用可能な時間を設定できます。
ここでは Yahoo や YouTube の使用時間を 1 日 1 時間とする制限の設定方法を説明します。

1. ①「アプリ使用時間の制限」をタップし、②「制限を追加」を選択します。



2. 制限したい対象が YouTube か、Yahoo 等その他 Web サイトかで、続く設定が異なります。

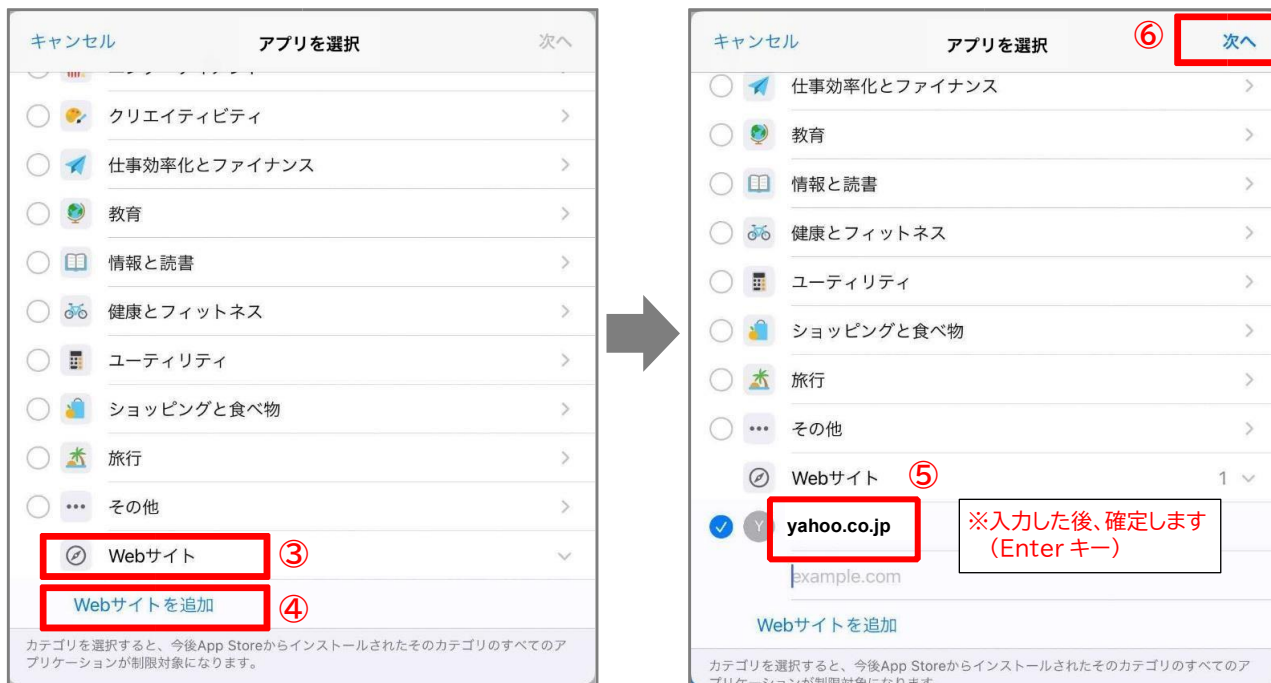
【YouTube の場合】

「スクリーンタイムパスコード」を入力し、「アプリを選択」画面で③エンターテインメント>④「YouTube」>⑤右上の「次へ」を押します。



【Yahoo 等その他 Web サイトの場合】

「スクリーンタイムパスコード」を入力し、「アプリを選択」画面で一番下の③「Web サイト」>④「Web サイトの追加」>⑤使用制限したいサイトの URL(例:yahoo.co.jp)と入力し確定>⑥右上の「次へ」を押します。



※次からは引き続き共通の手順です。

3. 1日あたりの使用時間を設定し、「使用制限終了時にブロック」をオンにし、「追加」をタップします。

※「曜日別に設定」を選択すると、曜日ごとに使用時間を設定できます。



4. これで設定が完了です。

